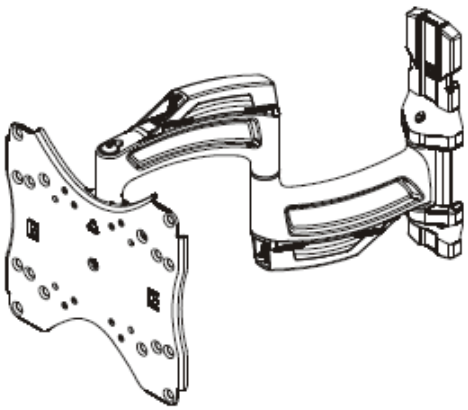
取扱説明書

CHIEF

デュアルスウィングアウトアーム式・大型フラットディスプレイ壁付け金具

型番 TS-218SU

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
ご使用の前にこの 「取扱説明書」 をよくお読みの上正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せる様に保管してください。



必ずお守りください

壁掛け設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取り付け場所の強度には、少なくともディスプレイと本製品を合わせた５倍以上の重量に耐える場所に設計施工を行ってください。
- 作業は必ず２人以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定金具は説明書通りの数量を確実に取り付けてください。

第003版　2014年 12月16日発行

安全上のご注意　ご使用の前に必ずお読みください

⚠ 警告と注意！

警告: この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

警告: この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

作業は必ず２人以上で行ってください。不十分な人員での作業はけがや破損の原因となります。

⚠ 警告

部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

⚠ 警告

取付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり非常に危険です。

⚠ 警告

ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取り付けてください。また壁に取り付ける固定ネジは付属しておりません。壁の材質や構造に適合したネジをご使用ください。

⚠ 警告

開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、けがの原因となります。

⚠ 警告

作業中ピンチポイントに注意してください、指をはさまないようにご注意ください。

⚠ 警告

ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ラッチが確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。また、ケーブルの取付作業を行うときは、必ずラッチでディスプレイを固定してください。

⚠ 注意

運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設置の前に

■設置場所について

- 壁面は総合荷重に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐え得る施工を行ってください。
- 設置の前に、壁掛けユニットとディスプレイの質量を確認のうえ、壁面強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行ってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な壁面への直接取り付けは行わないでください。幅木や受け木天井吊り金具には取り付けないでください。
- コンクリートの壁に取り付ける場合は、総合荷重に十分に耐えるアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行った場合、ディスプレイが落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分にご注意ください。

■設置方法

各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。

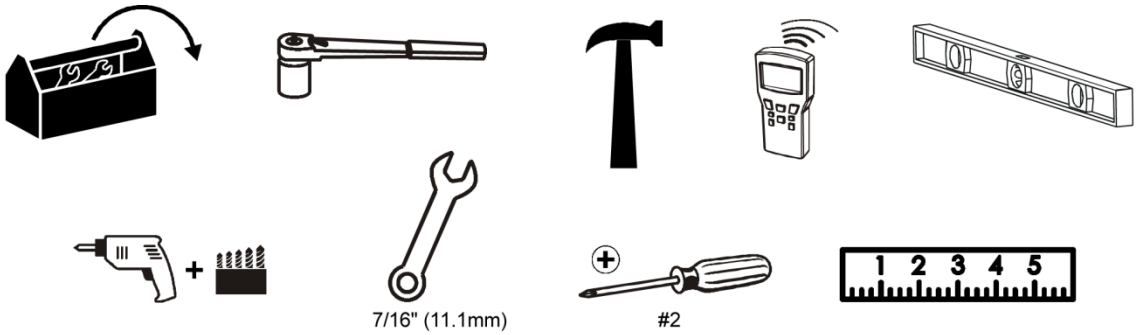
本取扱説明書の安全上のご注意の設置場所についてよくお読みのうえで、ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めて下さい。

図に従って壁面にアンカー処理、下穴処理等を必要に応じて行ってください。

壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるかを確認してください。

本製品を壁面にしっかりと取付けてください。
指定された取付穴に、決められた個数の固定ビスを必ず取り付けてください。

■必要な工具



■パーツ

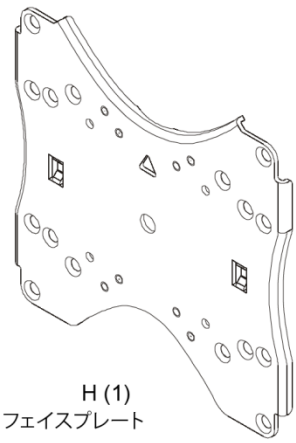
"A"
A1 (4) M4x12mm
A2 (4) M4x16mm
A3 (4) M4x25mm

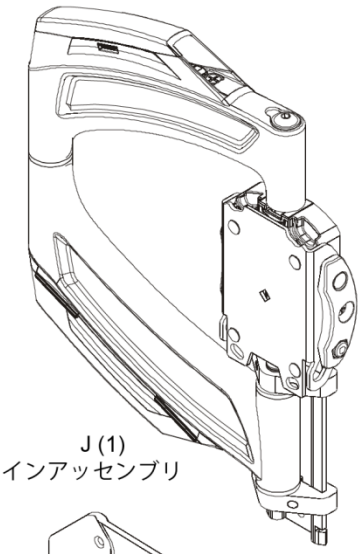
"B"
B1 (4) M5x12mm
B2 (4) M5x16mm
B3 (4) M5x25mm

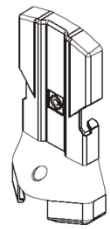
"C"
C1 (4) M6x12mm
C2 (4) M6x16mm
C3 (4) M6x25mm

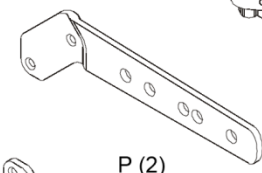
"D"
D1 (4) M8x12mm
D2 (4) M8x20mm
D3 (4) M8x30mm
D4 (1) M5

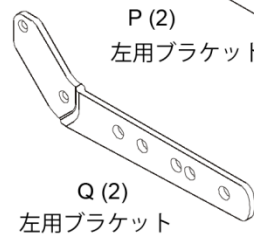
"E"
E1 (4) ユニバーサルワッシャー
E2 (8) 1/4"
E3 (4) M8

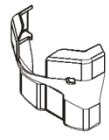

H (1)
フェイスプレート

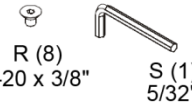

J (1)
メインアッセンブリ


K (1)
トップカバー

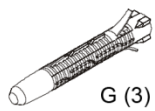

P (2)
左用ブラケット


Q (2)
左用ブラケット


L (1)
ボトムカバー

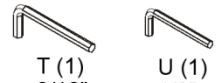

R (8)
1/4-20 x 3/8"
S (1)
5/32"

F (3)
1/4 x 2 1/2"


G (3)
コンクリートアンカー

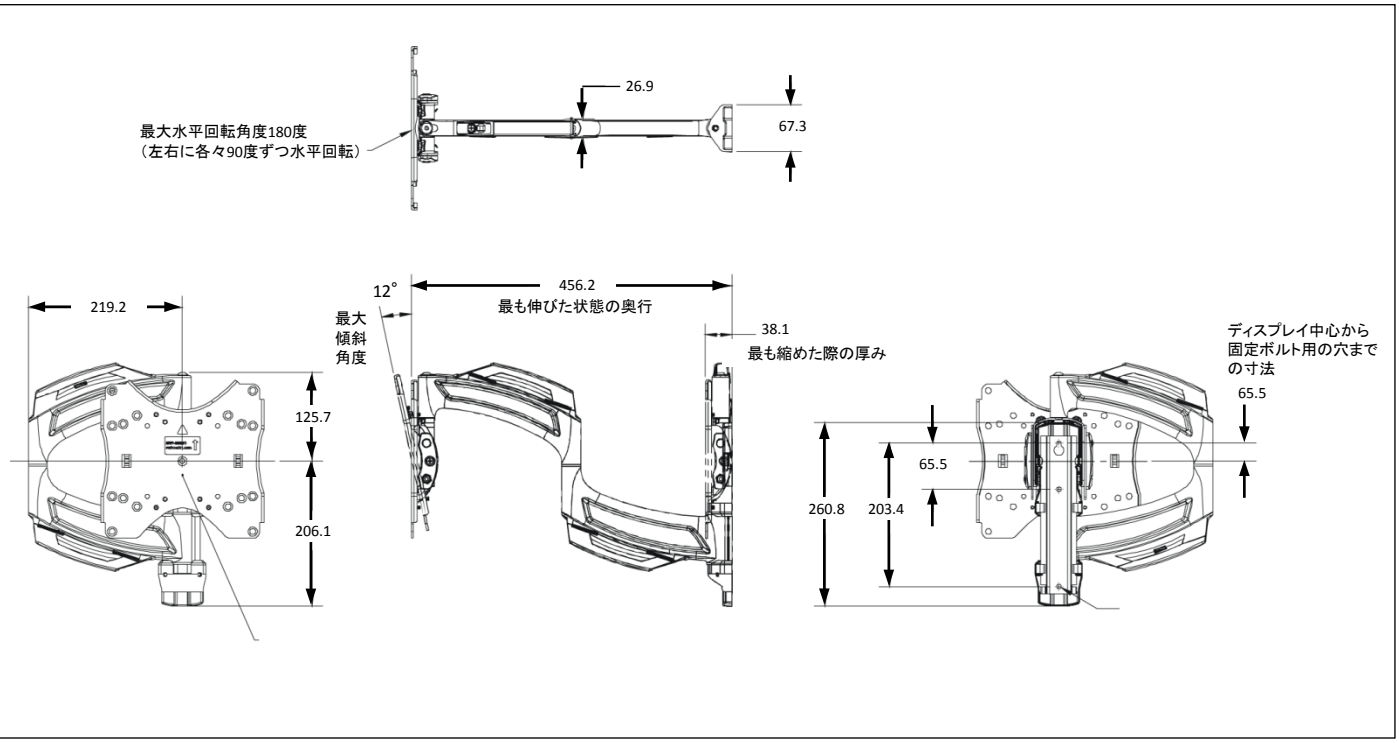
M (2)
スペーサー

N (2)
#10-24


T (1)
3/16"
U (1)
1/8"

添付品の封入内容は、性能向上、対応範囲の変更等の目的で変更することがあります。

■寸法 （単位mm）



■本体重量 4.7 kg

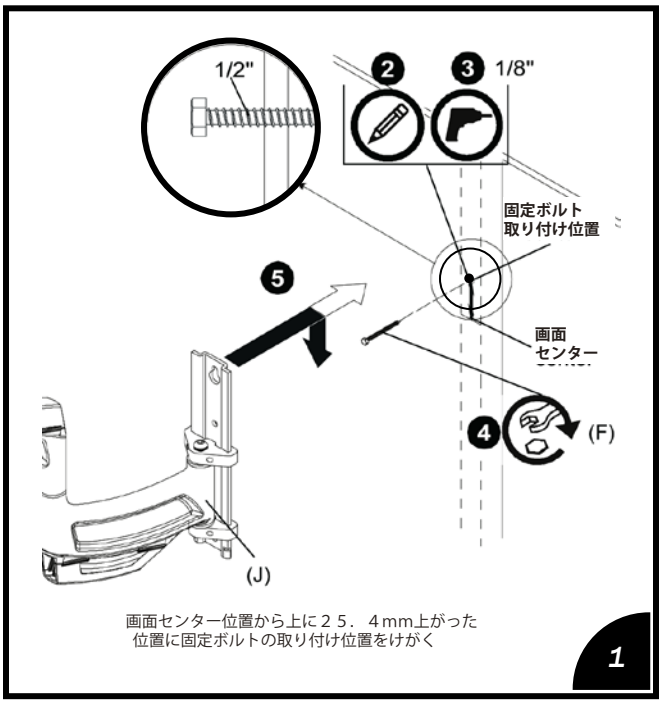
■取付重量 15.9 kg

■別売りオプション

- **スウィングアーム用中間シェルフ ：型番 TA100**
  （45mm幅の中間シェルフ）
- **カメラシェルフ ：型番 TA250**
  （300mm幅のカメラシェルフ）

◆メインアセンブリーを壁（補強など）に取り付ける。

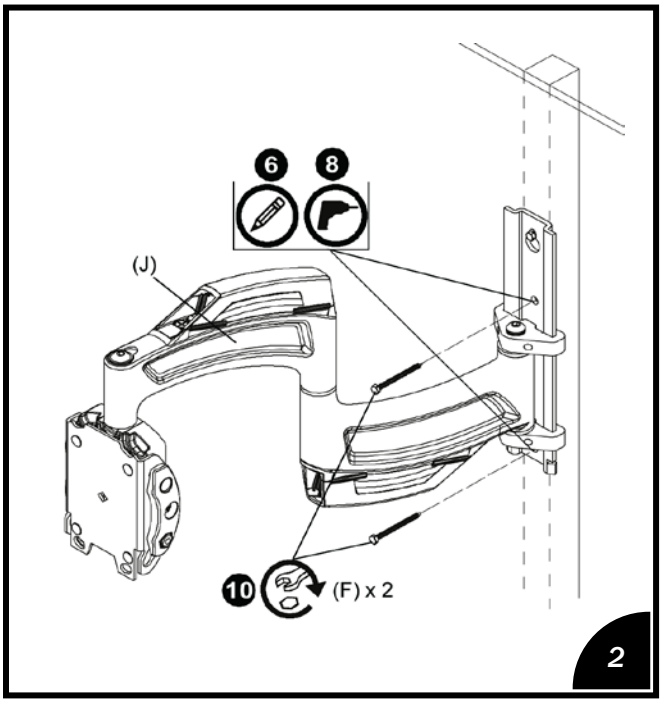
ディスプレイのセンター位置から上に25.4mm上がった位置に固定ボルト取り付け用穴が合うようにしてください。



画面センター位置から上に２５．４mm上がった位置に固定ボルトの取り付け位置をけがく

1

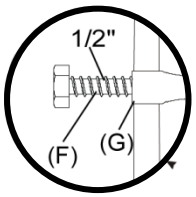
◆さらに固定ビス（２ヶ所）を確実に固定して下さい。



2

◆壁の種類によって固定方法を選択してください。

図では背面に補強の木製桟をいれていますがコンクリート壁の場合にはディスプレイと本製品の合計重量に５倍以上の安全係数をかけた耐荷重に耐えられることを想定したうえでアンカーによる施工をお願いします。

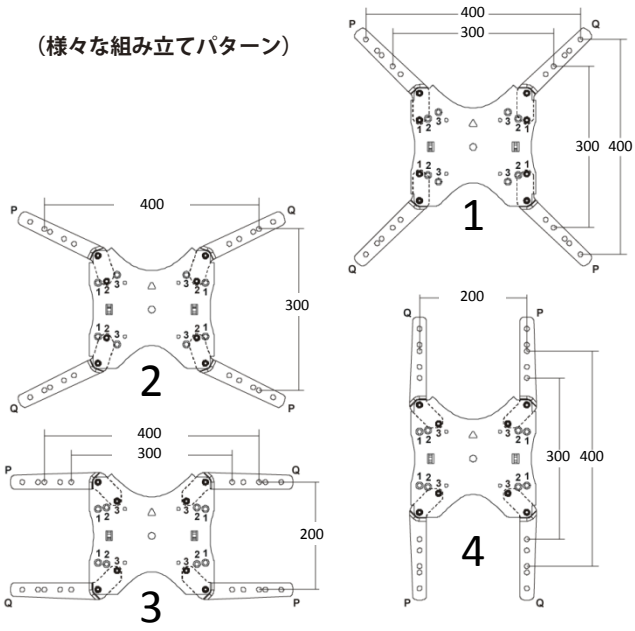


◆フェイスプレートの組み立て

ディスプレイ背面に取り付けられるフェイスプレートは以下のVESA規格の寸法に合わせて、自由に組み立てできます。

フェイスプレートと左右のブラケットの組み合せ方で、様々な形を作ることが可能となっています。

（様々な組み立てパターン）



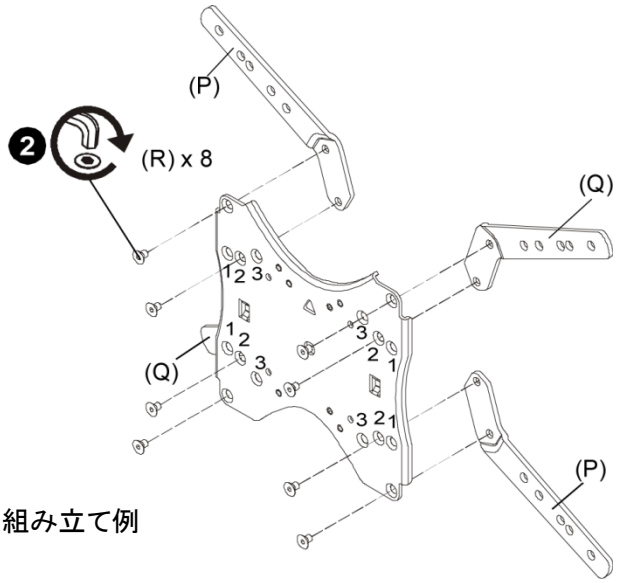
1	
300×300	ディスプレイ　縦設置・横設置
400×400	ディスプレイ　縦設置・横設置

2	
400×300	ディスプレイ　横設置

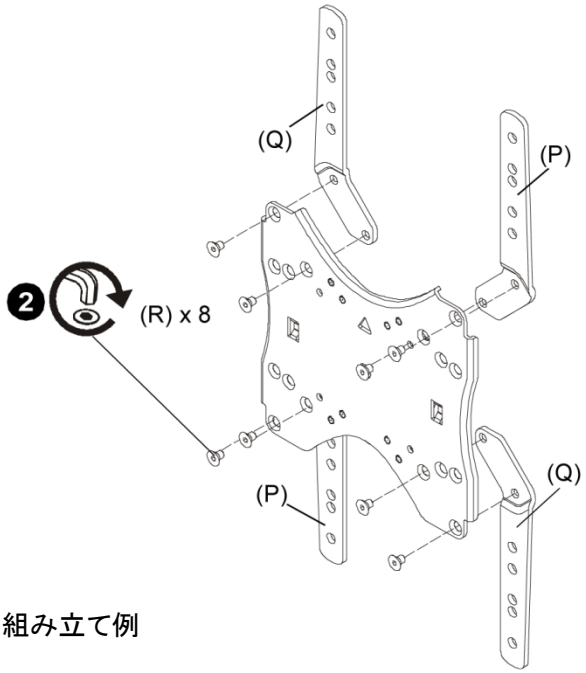
3	
400×200	ディスプレイ　横設置
300×200	ディスプレイ　横設置

4	
200×300	ディスプレイ　縦設置
200×400	ディスプレイ　縦設置

◆フェイスプレートとブラケットの組み合わせ
指定のビスを使用して４つのブラケットをフェイスプレートに取り付けてください。



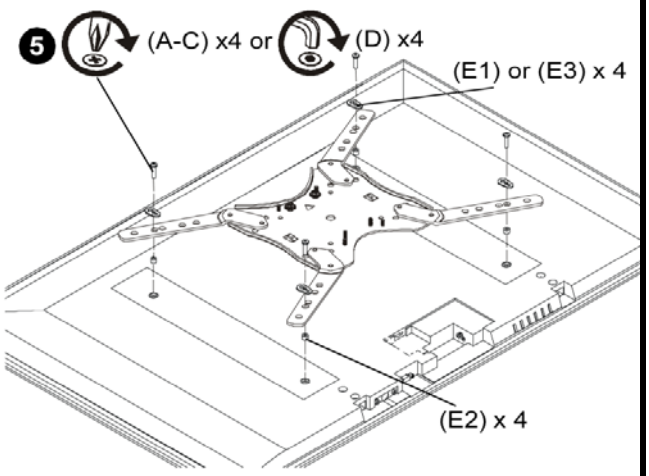
2 の組み立て例



4 の組み立て例

上記 **4** の場合は（**Q**）と（**P**）の各ブラケットを裏返して使用します。

◆ディスプレイの取り付け



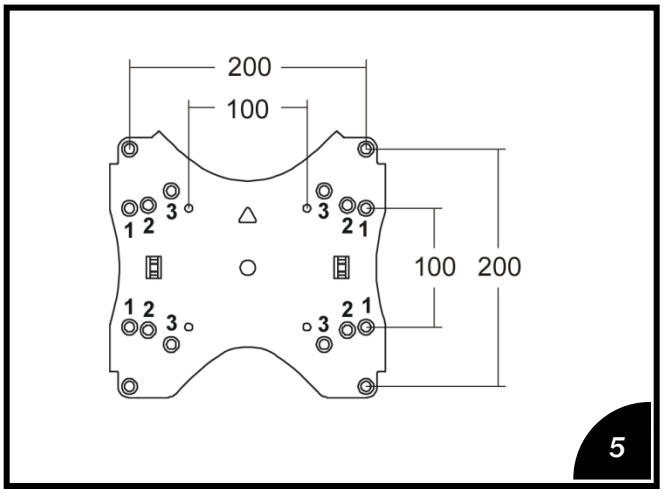
ディスプレイを横向き設置する場合の取り付け例です。
安全のため、必ずビスで４点固定してください。

3

◆ディスプレイの取り付け

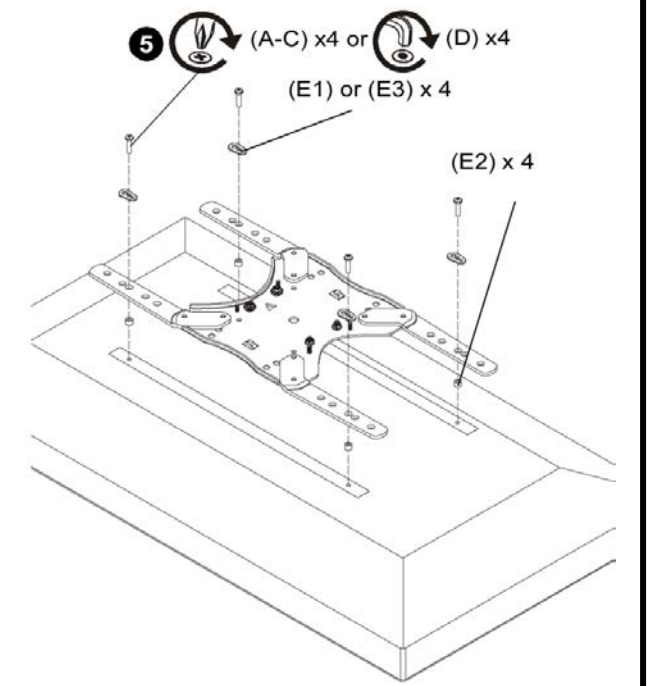
フェイスプレートに４本のブラケットを組み合わせる方法ではなくフェイスプレートをディスプレイ背面に直接取り付けるという方法もあります。

VESA規格　100×100mm　200×200mm　100×200　200×100の４パターンに該当するディスプレイであれば、フェイスプレートをディスプレイ背面に直接取り付けることができます。



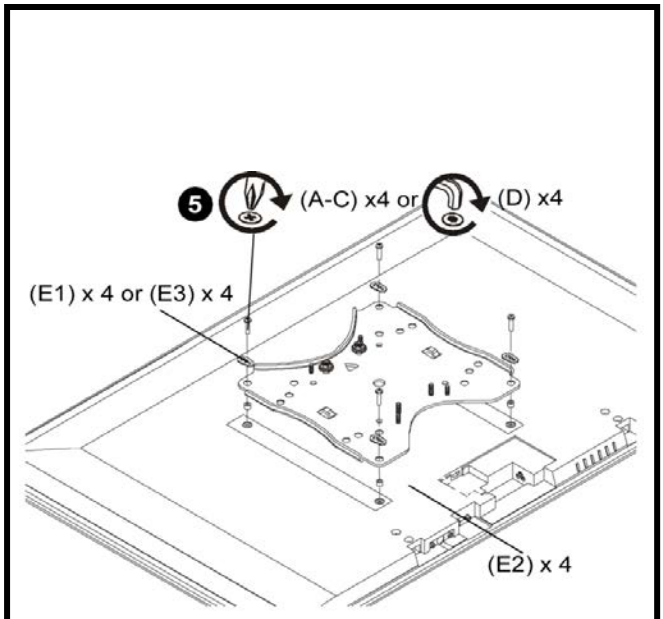
5

◆ディスプレイの取り付け



ディスプレイを横向き設置する場合の取り付け例です。
安全のため、必ずビスで４点固定してください。

4

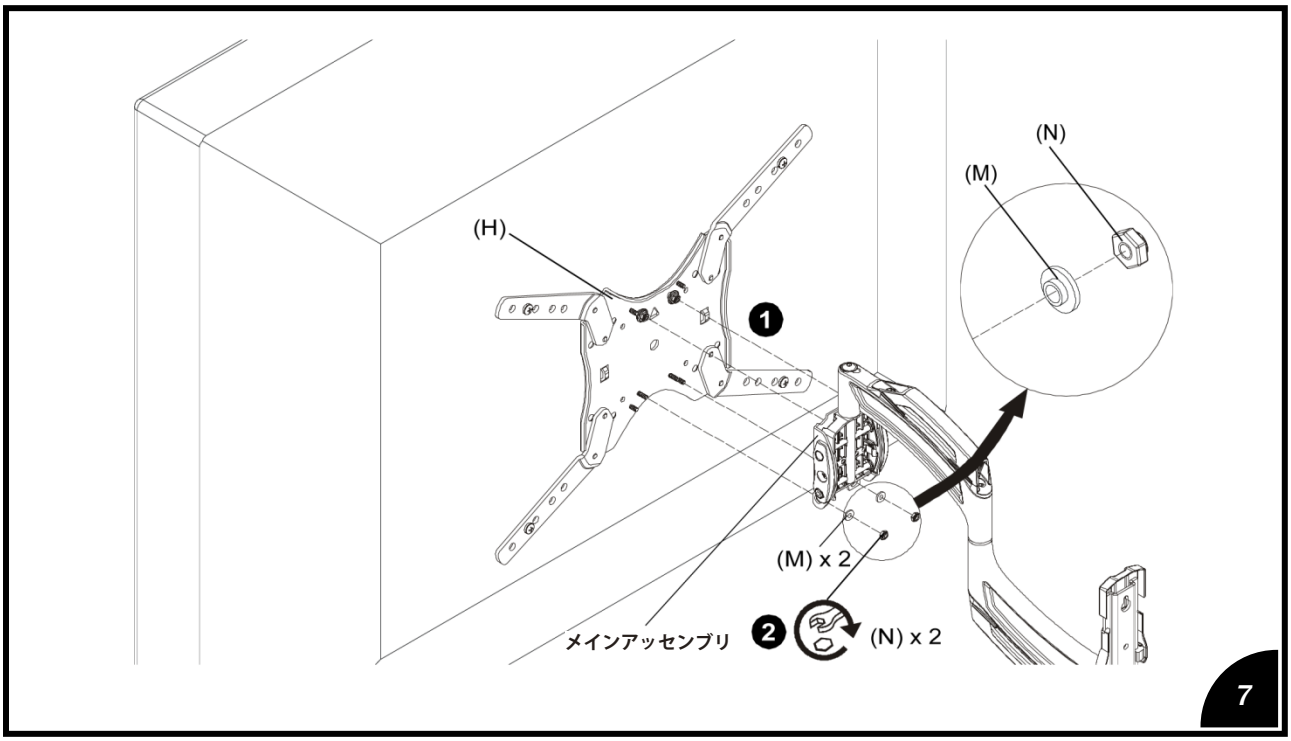


ディスプレイ背面にフェイスプレートを直接取り付けします。
安全のため、必ずビスで４点固定してください。

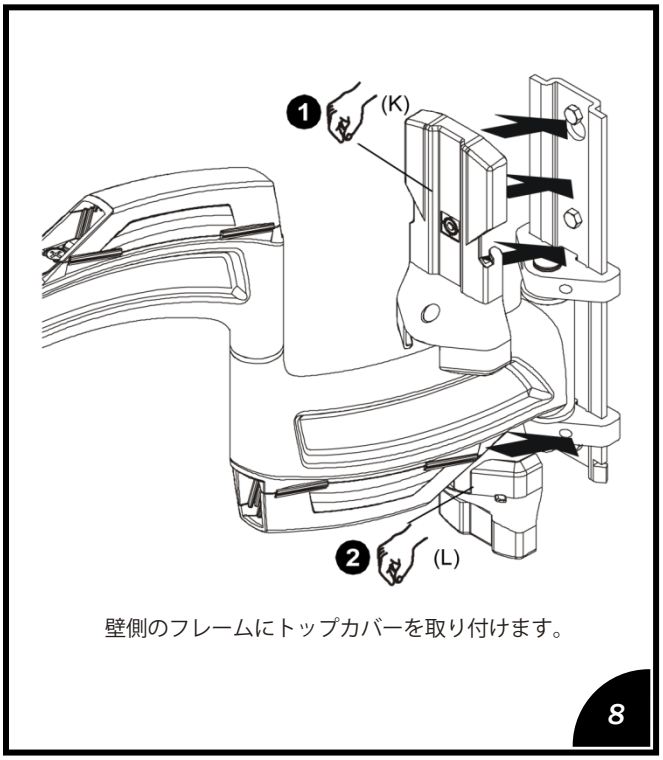
6

◆ディスプレイの取り付け

下記の要領で、ディスプレイとメインアッセンブリを取り付けます。

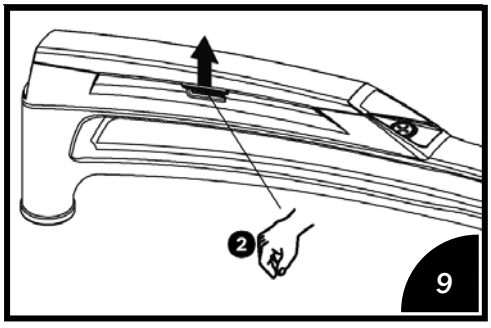


◆化粧カバーの取り付け

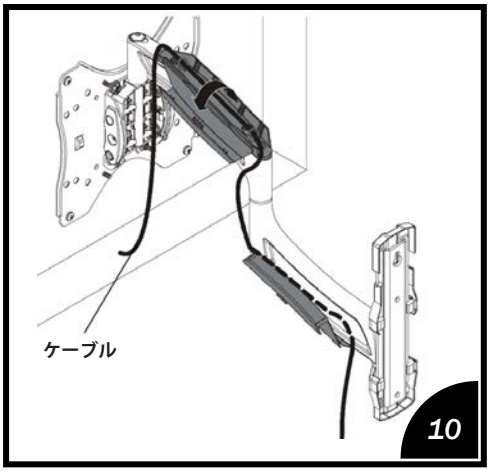


壁側のフレームにトップカバーを取り付けます。

◆スウィングアームについているケーブルカバーはカバーの中心にあるタブを引っ張ることで、開けることができます。

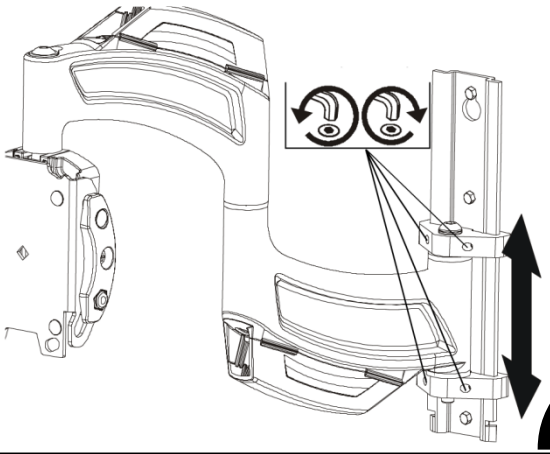


◆アーム部分には全てケーブルカバーがついていますので配線用ケーブルは全てその中に隠すことが可能です。



◆ディスプレイ高さ調整

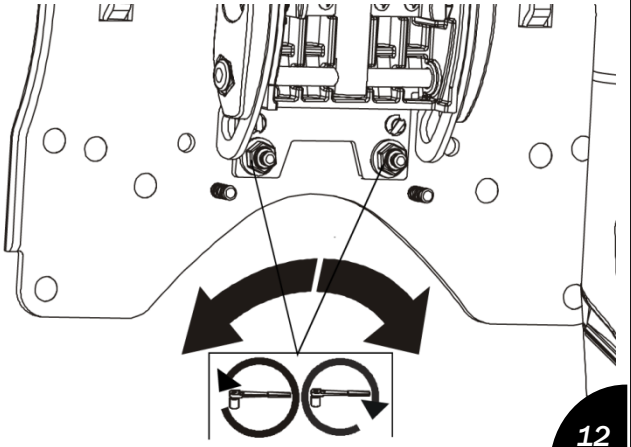
金具を壁に取り付けた後、ディスプレイの高さ調整を行う場合図の箇所を六角レンチでまわすことによって、調整ができます。



11

◆左右水平傾き調整

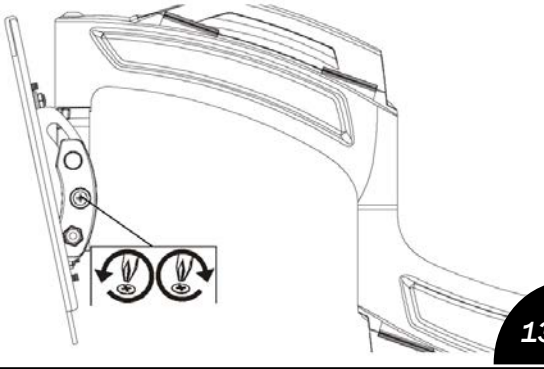
ディスプレイを正面から見て、左右いずれかに傾いている場合図の箇所にあるビスをまわすことで調整が可能です。



12

◆チルトフリクション調整

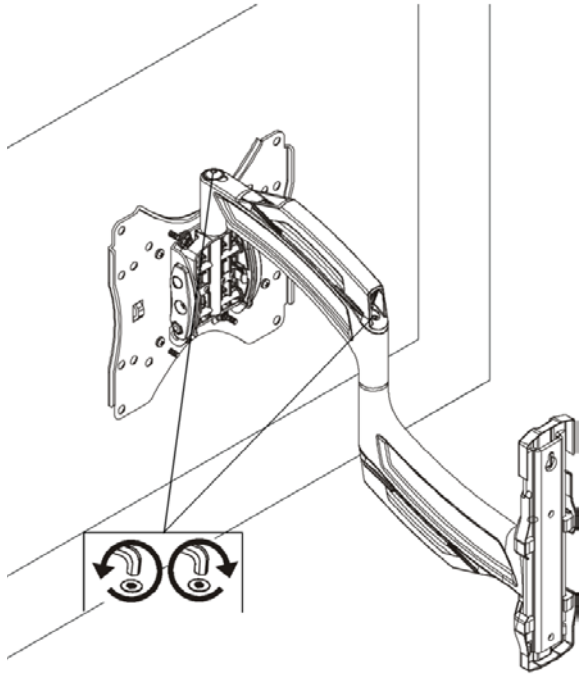
図の箇所の調整ビスを廻すことで、ディスプレイの傾斜調整ができます。

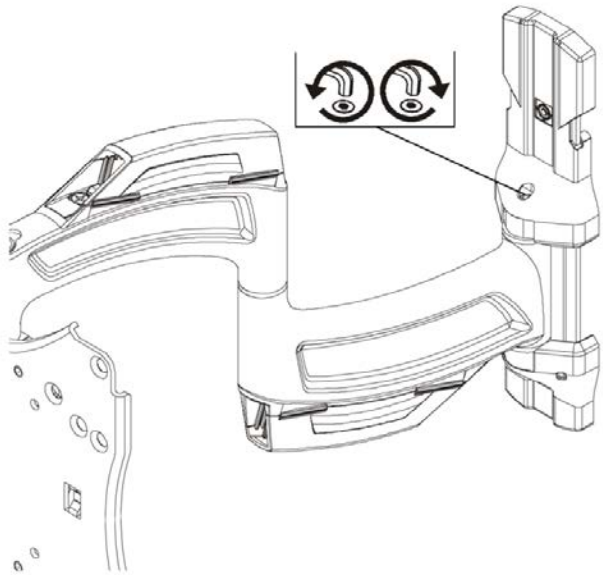


13

◆アーム固さ調整

アームの固さを調整する場合には、図の箇所のアジャスターを適宜最適な固さに調整してください。





14

Memo

CHIEF正規輸入総代理店

株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

http://www.avc.co.jp/

● システム販売事業部　首都圏　〒135-0063　東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー 8F
TEL : 03-3527-8660　FAX : 03-3527-8666

関　西　〒564-0062　大阪府吹田市垂水町3-18-25
TEL : 06-6836-7827　FAX : 06-6310-6144

第003版　2014年 12月16日発行